

9月定例会は、9月11日から14日の4日間の会期で開かれました。定例会では、平成29年度の決算認定については決算特別委員会に付託し審議され、その他、平成30年度各会計補正予算、条例の制定、人事案件の議案など、慎重に審議しました。



決算特別委員会の様子

平成29年度の決算認定は、決算特別委員会に付託され慎重に審議されました。その結果、一般会計決算認定は賛成多数で認定し、その他の特別会計決算認定については全会一致で認定しました。決算額は、一般会計と特別会計合わせて、歳入107億2,672万9千円、歳出103億7,521万3千円となりました。差引額のうち一般会計では1,102万2千円が年度内に支出完了することができない事業の財源として平成30年度へ繰り越されました。

会計別決算額 (千円未満切捨て/△はマイナス)

会計名	歳入	歳出	差引	
一般会計	71億4,870万6千円	69億2,909万2千円	2億1,961万4千円	
特別会計	国民健康保険	17億328万2千円	16億27万3千円	1億300万9千円
	後期高齢者医療	1億3,938万9千円	1億3,903万9千円	350千円
	介護保険	13億3,373万2千円	13億657万5千円	2,715万7千円
	簡易水道事業	3,441万7千円	3,421万2千円	20万5千円
	公共下水道事業	2億8,859万5千円	2億8,793万4千円	66万1千円
	農業集落排水事業	7,788万5千円	7,762万3千円	26万2千円
	霊園整備事業	72万3千円	46万5千円	25万8千円
小計	35億7,802万3千円	34億4,612万1千円	1億3,190万2千円	
一般・特別会計決算合計	107億2,672万9千円	103億7,521万3千円	3億5,151万6千円	
上水道事業会計 (消費税抜き)	収益的収支	4億347万1千円	3億2,907万7千円	7,439万4千円
	資本的収支	8,589万1千円	2億1,116万7千円	△1億2,527万6千円

※上水道会計 資本的収支の不足額については、過年度分損益勘定留保資金、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額、建設改良積立金で補てんしました。

様々な視点から質疑が行われました(決算質疑抜粋)

一般会計

問 固定資産税の不納欠損額の件数は、またその要因は。
答 48件。要因は、企業の倒産が主で滞納処分等を行っているが、多額の抵当権が設定されている。

【歳入】

問 子どもインフルエンザ予防接種事業において、特に高校生接種率が低い原因は。
答 高校生ともなるとクラブ活動等で多忙なのだと考えられるが、昨年と比べると1・6倍にはなっている。

問 認定農業者の認定基準は、審査委員会の審査を経て決定される。
問 放射性物質吸収抑制対策費の塩化カリ施用ほ場の土壌から玄米への放射性セシウムの移行検証の結果は。
答 施用ほ場3件、非施用ほ場3件の検査結果は異状なしの

結果であった。

問 農林水産物のPR支援事業の内容は。
答 体験ツアーは年2回(都内・横浜)実施し、「食と健康を学ぶ」「こんにゃく造り体験」では33人参加。「ウオーキング」「田舎味噌造り体験」は17名の参加。

PR記事作成は、棚倉町のポスターを製作し、東北道や常磐道などのSA14カ所に掲示している。

問 工場誘致費の事業内容は。
答 負担金の他、企業誘致セミナー、パンフレット作成が主なもの。

問 働く場所の確保の観点から、工場誘致費が少ないのでは。
答 現状と同じく訪問事業等を行いながら、今後は取り組みを強化していきたい。

問 消防団員が欠員しているところの対策は。
答 本団役員、ラッパ隊、女性消防班について不足している状況だが、それぞれ個別に対策をしている。

問 就学援助費の要・準要保護児童就学援助に対象となる方は。
答 生活保護や所得の少ない方が対象。

問 教育指導費の主な内容は。
答 各学校へスクールカウンセラーが週に1回程度来校。他、スクールソーシャルワーカーが児童等、先生や地域家庭等に関連して相談を受けている。

問 カウンセラー等に相談した案件など、教育委員会ではどのように反映しているのか。
答 定期的に学校長との会議があり、その中で報告等がある。対象となった児童生徒には継続的に問題が解決するまで対応している。

問 図書購入費の基金についてどのような状況か。
答 現在の基金は430万円あり、29年度の繰り入れは行っていない。

問 図書の購入選定の内容は。要望を聞き入れながら行っている。平成29年度実績で46件の要望のうち38件を採用した。

国民健康保険特別会計

問 収入未済額について、どのように改善していくのか。
答 滞納者には財産調査を行いながら本人と約束をし、守れなかった場合には差し押さえを行う。高額滞納で難しい案件には白河滞納整理組合へ移管する。

農業集落排水事業特別事業

問 現在の加入率はどうな状況か。
答 平成29年度の接続率は61・77だが、毎年約1%の微増を推移している。



一般会計決算認定をめぐり 討論が行われました

■反対 1人
鈴木 政夫 議員

■賛成 11人
佐川 裕一 議員

平成29年度決算は、翌年度へ繰り越すべき財源を差引き実質収支額は2億859万円となりました。
なぜ2億円を超す剰余金が出るのか、なぜもつと有効に予算の執行ができないのか。今、町にとつて早急に取り組まなければならぬ問題は多種多様でありま。一例を挙げれば「学校給食費の無料化」年間8千万や「幼稚園の使用料」1,731万。「保育料無料」では3,251万円で合計約1億3千万円でありま。つまり、2億円という額はこれだけの重みを持っている。
今、この自治体も少子化で悩み、子育て支援策が非常に重要な時期にきていると思いま。したがって私はこのような剰余金を出すのではなく、予算の使い方を十分研究しながら子育て支援策等に充てるべきだと考いま。また、働く場所の確保の問題も重要な課題であり、企業誘致がなかなか進まない。棚倉町はリスクの少ないオーダメイドにこだわっている。もちろんリスクは考えなくてはならない問題であるが、子育て問題、働く場所の確保等々になぜもつと有効に予算を執行できないのか。まことに残念である。以上、指摘をしまして反対討論と致しま。

平成29年度の主な事業として、幼稚園大規模改修事業や棚倉保育園新園舎建設事業補助事業など3年保育の完全実施に合わせ子育て環境の充実と待機児童の解消が期待できるものでありま。
また地方創生拠点整備交付金を活用した、八槻観光拠点施設整備事業や棚倉町健康づくり交流館整備事業による町民の健康増進の推進など広く効果が期待できるものと思われま。更に、町内各地域の社会インフラ整備充実に向けた事業を展開してありま。また、除染対策は町内の仮置き場に保管されていた除染土壌等を中間貯蔵施設へ全て搬出し、風評被害対策としても、この全量全袋検査や放射性物質吸抑制対策事業による農家への支援。農林水産物PR支援対策事業により県内外への消費者へ安全性のPRを行うてありま。更に、森林の除染と再生のため継続事業でもある「ふくしま森林再生事業」により間伐事業なども積極的に取り組んでありま。この他にも低所得者に向けた臨時福祉給付金の給付事業のほか、キャリア教育環境の整備などの積極的取り組みんでありま。
以上、私は国県の補助金や交付金など有利な財源を確保し各種事業を積極的に展開してきた平成29年度決算の内容を評価できるものと考え賛成討論と致しま。

条例の一部改正

◇棚倉町地域活力向上地域における固定資産税の不均一課税に関する条例の一部を改正する条例

地域再生法の一部を改正する法律等が施行されたことに伴い、企業の本社機能等の誘致・強化を促進するために固定資産税の課税免除を追加するもの。

請願

※審査結果…不採択

◎学校給食費の無料化を求める請願

※他、同案件2件
提出者…新日本婦人の会福島県本部
棚倉班 衣山漢子

陳情

◎「ふくしま森林再生事業」の事業延長について
提出者…東白川森林組合
代表理事組合長 富永盛彦

定期監査が行われました。



書類を確認しながら
担当課の説明を聞き入る様子
(10/24から11/7までの6日間)

正算 補予

田楽橋付近 町道鹿子山 沢目線の 舗装工事など
一般会計 1億1,121万円を増額

補正予算の主な内容

◇一般会計

歳入

国庫支出金、県支出金、繰越金、町債などの増額補正です。

歳出

地方創生拠点整備事業による食品加工研究開発施設の整備、福島再生加速化交付金による町道側溝の堆積物除去事業、町道花園目線の舗装工事、文化センタートイレの改修工事、林業施設災害復旧費等の補正です。



歳入

問 町有地の売り払い収入はこの土地か。売り払い単価は。

答 北町地内の貸し付けていた土地125㎡、坪単価47,500円。

歳出

問 地方創生事業費の食品加工研究開発施設整備事業費の内容は。
答 ルネサンス棚倉パルテノン厨房の一部を有効活用を図るための事業費。



改修が予定されているルネサンス棚倉パルテノン厨房

問

鹿子山沢目線の道路工事完成のイメージは。

答 未舗装部分52mの舗装工事で、道路幅は4m、路肩を含めて4.5mを予定。



近く改修予定の鹿子山沢目線の一部

問

鹿子山沢目線の現在の歩道は変則的になっているが、改修などの計画はあるのか。

答 現在の歩道は残す計画だが、今後、整備が必要になった際に計画していきたい。

人・事・案・件

棚倉町教育委員会委員の任命



松本 一夫さん
(古町)

棚倉町固定資産評価審査委員会委員の選任



高橋 典昭さん
(下町)

町政を問う

9月定例会では9人の議員が登壇し質疑を行いました。今回は、それぞれの視点から多岐にわたる質問がなされています。次のページからは、要点をまとめて掲載してあります。

1 鈴木政夫 議員 …… 7ページ

1. タクシー利用券の改善を求めたい
2. 棚倉高校校舎解体と跡地の利用計画は出来ているのか
3. イノシシ対策費の執行状況は

2 藤田光子 議員 …… 8ページ

1. 棚倉運動広場の整備は
2. 文化センターの施設の改善及び、修繕は
3. 棚倉駅前、JR関東バス会社の空き地は
4. 歴史まちづくりの進展状況は

3 菊池忠二 議員 …… 9ページ

1. 人口減少問題の対応は
2. ブロック塀等の安全対策は
3. 図書館の活用状況と運営状況は

4 和知裕喜 議員 …… 10ページ

1. 児童虐待防止推進のための取り組みは
2. 町道富岡三森線の整備は
3. 県道山本不動線整備は

5 佐藤喜一 議員 …… 11ページ

1. 農業政策の改正される内容は
2. 公共下水道事業の推進計画は
3. 町営住宅団地の整備計画は

6 須藤俊一 議員 …… 12ページ

1. 町営住宅の整備は
2. 田楽橋周辺の整備計画は
3. 森林再生事業の現況は

7 古市泰久 議員 …… 13ページ

1. 森林再生事業の実績と今年度事業の進捗状況は
2. 八槻観光拠点施設は
3. タクシー利用料金助成事業は

8 佐川裕一 議員 …… 14ページ

1. 学力向上の施策は
2. 子育てアプリ等各種スマートフォンアプリの導入は
3. 介護職員の確保は

9 藤田智之 議員 …… 15ページ

1. 旧棚倉高校跡地の今後は
2. (終活)を行政として支援すべきでは
3. 町民プールの整備とプールでの事故対策は
4. 学校や行事等での熱中症対策は



問 タクシー利用券の改善を求める 答 修正や訂正があれば改善していく

問 7月1日から発足した交通弱者への対策として、タクシー利用券の方法を採用したが、1回の利用で510円の利用券が1枚しか使えないのはなぜか。

また、利用券を一人年間48枚としたが、町中心部より近い人と遠い人と同じ枚数の配布はなぜなのか。現在までの利用券の取得状況等につき見解を求めたい。

町長 利用券が1枚しか使えないのは、初乗り運賃相当額を助成するため、1回の利用につき一人1枚とした。

近い遠い等発生するが利用目的の制限や場所を特定していないため、一律に初乗り運賃相当額を助成するつもりから。

現在までの利用状況は、7月31日までの1ヶ月で205名、782件の利用があった。

問 なぜ、初乗り運賃相当額を助成する方法を選んだのか。

町長 週に1回買い物に行く想定すると年間48週くらいになり48枚となった。また、1ヶ月分の報告しかないが、これから実行していく中で修正や訂正するようなことがあるれば改善して町民に使いやすい事業にしていきたい。

問 旧棚倉校舎解体と跡地利用計画は 答 県営施設の利活用を要望していく

問 新聞報道によれば来年度、旧棚倉の校舎を県が解体することだが、町としての様に捉え、解体後の土地利用について方針は決まっているのか。

町長 県の担当部に確認をしたところ、旧棚倉校舎解体工事の設計委託が発注されており、解体の準備がされていると聞いている。校舎解体後の土地利用については、県の所有地なので県営施設



今後、取り壊しが計画されている旧棚倉校舎

利活用地として計画されるよう要望していく。また、跡地払い下げについては、以前、寄付をした経緯はあるが、現在は県有地のため、今後、県の動向を注視していく。

問 イノシシ対策費の執行状況は 答 引き続き捕獲と被害予防に努める

問 イノシシによる被害は年々拡大の一途を辿っている。今年度の対策費は386万円となっているが、その執行状況は。

町長 電気柵の整備等を行ってきたが、7月31日現在で捕獲頭数は44頭。引き続き、イノシシの駆除と電気柵による被害予防を徹底していきたい。



鈴木政夫

問 棚倉運動広場の整備は

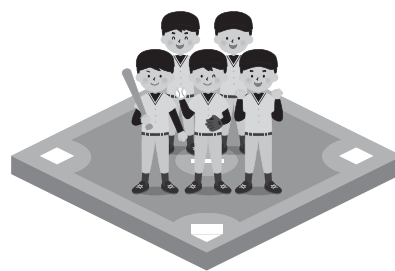
答 有効活用の観点から対応策を考える

問 グラウンド南側の照明が設置されれば用途は広がるはずだがなぜしないのか。

生涯学習課長 今後、グラウンドの利活用として全面利用ができるような判断も考えられると思うので調査研究をしていく。

問 掲揚塔の塗り替えを早急にすべきでは。

教育長 維持管理の中で補修を実施した。



問 文化センターの施設改善、修繕は

答 来場者のニーズに配慮し改修を検討する。

問 多目的トイレの改善と場所の告知を明確にすべきでは。

教育長 多目的トイレの標記及び誘導について動線や目線に配慮し検討する。

問 古くなった床じゅうたんの張替えが必要では。

教育長 文化センターの大規模改修の中で必要性について検討する。

問 2階ロビー「ホワイエ」の新たな利活用を検討しては。

教育長 ニーズがあれば新たな活用について調査研究していく。

問 多目的トイレにあるペーパーの改善も必要では。

生涯学習課長 今年度実施予定のトイレ改修工事等において検討する。



表示のわかりづらい多目的トイレ

問 棚倉駅前JR関東バス会社の空き地は関係機関と連絡をしながら考える

答 関係機関と連絡をしながら考える

問 利用価値のある土地なので取得し有効な利活用を考えては。

地域創生課長 具体的な計画は持っていないが、関係団体等と情報の共有を図りながら調査研究していきたい。

問 町の発展につながる「歴まち棚倉」を目指し購入し整備してはどうか。

地域創生課長 歴まちの中でも、今後、研究していきたいと考えている。

問 小京都棚倉として歴史ある町づくりの進展状況は

答 町に存在する文化財を的確に把握し、歴史文化基本構想を策定している



藤田光子

問 人口減少問題の対応は

答 第6次振興計画を遂行していく

問 これまでの人口の推移は。

町長 昭和35年人口は18、755人で、その後減少が続き平成27年に14、295人と減少傾向。

問 生産年齢人口の割合は。

町長 昭和55年に65・2%に対し平成27年には58・2%に減少し、今後も減少傾向が続くと思われる。

問 将来の我が町の姿をどの様に想定し施策を講じてゆくののか。

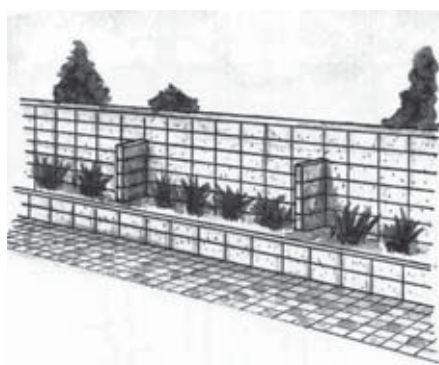
町長 第6次振興計画に掲げる目指す将来像の実現に向け各政策を実現していく。

問 税収の減収の対応は。

町長 健全な財政運営を図っていく。

問 定住人口増加の施策は。

地域創生課長 定住人口の増加について全庁的に検討していく。



安全な施工が求められるブロック塀

問 学校のブロック塀等の安全対策は

答 職員などにより、ブロック塀の有無について現地調査を実施

問 その結果は。

町長 町内全ての学校などの敷地にブロック塀は存在しないが通学路には複数存在するのでその報告内容を確認中。

問 歩道、道路に面した一般の人や幼児が通行するような場所の

ブロック塀などの安全確認はされたのか。

町長 現在、県において通学路等の安全確保についての取りまとめが行われており、その後県と町が安全調査を実施していく予定。

問 今後、会社や個人所有のブロック塀の安全と町との関わり方は。

町長 今まで同様、建築確認申請書の提出が必要。今後は、危険なブロック塀等の撤去の支援などが予想される。

問 町が点検項目を作成し自主点検などの方法もあるが。

産業振興課長 国交省でブロック塀の点検チェックポイントの周知があったので検討していく。

問 図書館の活用状況と運営状況は

答 指定管理者制度導入後増加



棚倉町の知恵の泉 図書館



菊池忠二

問 利用者の声や評価は。

生涯学習課長 窓口やご意見箱等で吸い上げていてこれまでにクレーム等は聞いていない。

問 職員の働き方や人数、改正労働者派遣法の観点から問題は無いのか。

生涯学習課長 問題は無いと認識している。

問 児童虐待防止推進のための取り組みは 答 地域で見守って行く地域づくりを推進

問 相談体制の充実を図るため、子育て世代包括支援センター、子ども家庭総合支援拠点の配置及び配置予定は。

町長 子育て世代包括支援センターは平成31年度設置に向け、準備を進めている。子ども家庭総合支援拠点の設置予定はない。

問 こんにちは赤ちゃん事業（乳児家庭全戸訪問事業）全戸訪問現況は。

町長 保健師が生後二カ月前後に家庭訪問し、子育てに対する情報提供及び育児相談を行っており29年度は対象児85件に対し訪問数は81件残り4件は保健福祉センター来所により面談している。

問 児童虐待を学校で認知した場合、適切な通知を行っているか。
町長 お互いに情報を共有し児童生徒などの状況把握に努め、いつでも相談できる体制を整えている。

る。児童虐待を認知した場合は迅速に学校から教育委員会及び児童相談所へ適切な通告を行っている。

問 町道富岡三森線の整備
答 現在、道路整備計画はない

問 町道富岡三森線には、歩道が無く危険。道路の整備計画は。

町長 舗装修繕工事や道路改良工事を実施しており現在は道路整備計画はない。

問 町道富岡三森線側溝の蓋の整備計画は。
町長 道路の維持管理のなかで必要に応じ整備していく。

問 町道富岡三森線の通称泥棒坂の立木を日陰対策で伐採は。

町長 優先順位を付けながら日陰対策事業に取り組む。



歩道が無く危険な祝部内地区

問 スクールバスの乗降場所が小爪祝部内地区多目的集会所前の道路で危険、場所の変更等の整備は。
町長 整備計画はありませんが児童の安全確保に努める。

問 県道山本不動線整備は
答 優先順位を踏まえ、事業費の確保に努める



和知 裕喜

問 薬師堂から高瀬区間の歩道を含めた全面的な道路整備計画は。
町長 棚倉土木事務所に確認したところ事業の必要性は理解しており引き続き管内の整備状況や優先順位を踏まえ事業費の確保に努めたいとのこと。

問 薬師堂から高瀬区間の道路南側の立木と山本不動尊の杉並木より100mほど手前の右側の立木を日陰対策で伐採できないか。
町長 地域森林整備計画との整合を図りながら対策を検討したいとのこと。

問 宮川橋より100m程手前の小さな橋の道路拡幅計画は。
町長 計画はありませんが交通量や利用状況を踏まえ利用者の安全確保に向けた維持管理に努めるとのこと。



佐藤 喜一

問 農業政策の改正点は 答 国、県の動向を踏まえ検討

問 水田宮農対策事業の中で、集落団地化モデル事業に参加されている地区の数と参加されている農家の戸数は。
町長 平成30年度は17組合で、農家戸数は120戸。

問 今後、集落団地モデル事業は組織の解消という対応になることで理解しているのか。
産業振興課長 現在のところ集落団地モデル事業については、内容等の見直しを図る方向で検討している。

問 全ての農産物を対象に収入減少を補てんする収入保険が導入されるが、それに対する対策は。
町長 農業推進の一環として農業共済組合と連携しながら、普及推進活動の取り組みに協力していきたい。

問 今後、多くの農家が保険に



問い合わせの窓口になる共済組合事務所

加入するようになれば、青色申告の講習会等の開催も必要と思うが。
産業振興課長 これから農業共済組合の担当職員と話をしている予定。

問 農業共済法の改正により水田の共済が自由化となるが、これらの対策は。
町長 共済加入が任意となり個人の意思により加入となるので、今後の動向を注視していく。

問 田楽橋周囲の下水道整備計画は
答 合併浄化槽の補助をもつて対応

問 町が取得した田楽橋周囲の土地について、下水道整備計画は。
町長 下水道全体計画区域の中にあるが、現在、公共下水道管渠整備事業が休止しており、住宅建築については合併浄化槽の補助をもつて対応。

問 町では、公共下水道、農業集落排水事業において、民間開発業者が加入負担金を負担しているが、最終住宅取得者には重複な負担になるのでは。
町長 民間による開発行為や住宅分譲における布設費は、受益者負担金の算定に含まれておらず開発業者の負担となっている。

問 老朽化で閉鎖予想される町営団地は
答 3団地の閉鎖を計画

問 町内の町営住宅団地の中で、建物の老朽化などにより閉鎖を予想される箇所はあるか。
町長 棚倉町町営住宅長寿命化計画において3団地の閉鎖を計画している。

問 閉鎖予定とされている団地の今後の取り組みについては。
整備課長 現在、入居者がいるので退居されたところから取り壊しを行う。



問 町営住宅の整備は

答 建替えは4団地、改修3団地を計画

問 町営住宅の団地数等は。

町長 団地、管理戸数210戸、入居戸数189戸、非入居戸数23戸、政策空き家16戸内今年度200万円の予算で2戸取壊す予定。

問 用途廃止予定3団地の入居者への今後の対応は。

町長 自主退去が進み、入居者が少なくなった場合には、別な団地に転居して頂く等、集約化を図り、対応。

問 現在の町営住宅の土地の町所有分と、借地分、地権者の数、借地料は。

整備課長 町所有分は6団地、借地は8団地、借地料は約681万円。

問 今後借地を返還する時の町の対応は。

整備課長 買い上げは現在検討していない。



早期整備が期待される町営住宅

問 田楽橋周辺の整備計画について

答 町道用地58㎡は今年度買戻し

問 田楽橋と松木川の整備、県との協議は。

町長 町営住宅の建設に併せて、田楽橋は架け替えの検討、松木川は、住民の安全確保の観点から整備要望を想定している。

問 町営住宅の建設の財源の対応は。

町長 国の社会資本整備総合交付事業の対象となり、2分の1が交付率となる。

問 昨年の3月議会では、この土地も含めて町営住宅の建設計画はないと答弁していたが、いつ決定したのか。

整備課長 地権者との交渉経過の過程の中で決まっていた。

問 この土地への町営住宅の建設は、町営住宅条例の、第2条の6、敷地の安全と災害の発生の恐れが多い土地。第2条の7、崖崩れ、又は、出水の恐れがある時に該当しないのか。

整備課長 建設の基準等に基づき県南建設事務所、柵倉土木事務所等の指導を頂き整備を進めていく。

問 森林再生事業の現況は

答 10地区260haを実施する

問 3ヶ年の決定した事業計画は。

町長 H30年度は7地区、200haの同意取得と測量設計業務、H31年度は4地区で森林整備、3地区60haの同意取得、測量設計、32年度は6地区の森林整備を実施。不採択は10地区200ha。

問 採択、不採択の地区への通知、広報等での結果公表はされたのか。

町長 代表者に通知をし、公表はしていない。

問 不採択になった地区への通知文で申請者は納得できると思うのか。

町長 今後、住民の理解協力を得られるような事務の執行を進めていきたい。

問 八槻観光施設に表示等を設置しては

答 表示等の設置を検討する

問 観光案内所の位置づけが不十分では。

町長 観光ポスターやブランド認証商品のポスター掲示やパンフレット等を設置している。更なる利用促進を図っていく。

問 施設の開閉時間は。

町長 設置条例により午前9時より午後4時まで。公衆トイレは常時開放。

問 管理体制は。

町長 鍵の開閉や清掃等の業務は、地元住民や観光協会八槻支部と協定書を締結している。

問 JAみりよく満点物語、八槻家住宅との三拠点観光物産の発信基地としての機能が発揮されているか。

町長 長い時間滞在してもらい、経済効果を図れるような施設を目指す。

問 開館の時間帯、日によっては進入柵が閉鎖している。協定書に基づいているのか。

地域創生課長 鍵の開閉業務に関する協定であるので、八槻都々古別神社に協力を依頼し協定の見直しを協議していく。

問 条例や協定の中には休憩日の規定が無い。無償による業務としては負担が重いので有償にしては。

地域創生課長 今後、検討、調査、協議していきたい。

問 八槻には如意輪寺というお寺がある。神仏混じりの時代には神社の境内にあったが、明治元年の神仏分離令により現在の地に移転したという歴史的背景がある。如意輪寺を加え、四拠点施設という方向を提案する。

町長 八槻エリアの中に観光として保存、整備し事業を進めていく。

きたい。

問 八槻家住宅には展示場が併設された。八槻都々古別神社には十数点に及ぶ国・県指定の重要文化財がある。なぜ展示しないのか。

町長 多くの方に愛されるよう活用を図る。



トイレや観光案内表示の無い八槻観光拠点施設

問 森林再生事業の平成29年度までの実施面積は

答 4地区9地域で約143ha実施

問 総事業費は。

町長 約3億3千万円。

問 平成30年度の計画は。

町長 7地区、約200haの同意取得と測量設計業務。

問 タクシー利用料金助成事業の登録者数は

答 対象者数は1,710名

問 現時点で、問題点や苦情、要望は。

町長 現在のところ受けていない。

問 隣接市町村のタクシーが利用可能であれば、利便性が高まると思われるか。

町長 町内に事業所を有する事業者として考えてはいる。

問 利用者の地区割人数の把握は。産業振興課長 データはまとめていないが、今後、検証段階では必要となる。



古市 泰久



須藤 俊一

問 学力向上の対策は

答 指導の改善を図っていく

問 全国学力テスト当町の結果と今後の対策は。

教育長 小学校の国語A・B、算数A・B、理科と中学校の国語A・B、理科においては、県及び全国平均とほぼ同程度または、やや下回っている結果であった。中学校の数学については、A・Bともに全国平均を下回っており、中学校の数学に課題が残った。キャリア教育を推進してきたところではあるが、まだ目標を持ってずに学習意欲が十分に高まっていない生徒が見られることが課題であり、それらが、学力に影響を及ぼしていると考えている。

今後の対策については、質問紙調査の結果では「予習・復習をしていますか」については、小・中学校ともに、全国平均を上回っているのので、「何のために学ぶのか」を意識させ、キャリア教育のさらなる充実を図り、子ども達がしっかりとした夢を持てるよう、

指導の改善を図っていく。

問 全国学力テストの当町の結果を公表してはどうか。

子ども教育課長 公表する方向で検討。

問 各種スマートフォンアプリの導入は

答 導入について検討



問 子育てアプリの導入は。町長 各種スマートフォンアプリ

問 介護職員確保の施策は

答 「町認知症サポーター養成講座」を実施

問 当町の介護職員充足率は。町では、介護職員確保の為にどのような施策を考えているか。

町長 各施設とも基準の介護職員数は配置されており、充足率は100%と考えている。介護職員確保のための施策につ



佐川 裕一

いては、昨年度から柵倉中学校の2年生を対象として、「柵倉町認知症サポーター養成講座」を実施しているところであり、こうした事業を通し、高齢者に関心を持ち、理解を深めることで将来介護職を目指す子供たちが増えることを期待したいと考えている。



今後も介護職員充足率100%継続の努力を望む寿恵園

問 旧柵倉高校跡地の今後は

答 県営施設としての利活用を要望

問 校舎の解体等について一部報道されているが、町としてはどの様に対処するか、土地の用途指定の変更は可能か。

町長 校舎の早急な取り壊しと県営施設としての利活用を要望し県の動向を注視したい。用途指定の変更は不可能ではないが難しい面もある。

問 解体工事の状況は把握しているのか。

地域創生課長 校舎解体工事の設計委託が発注されている。

問 もっと綿密な情報収集が必要ではないか。

町長 色々な形で情報収集に努めたい。

問 校舎解体後、県での利用が無い場合、町への払い下げが予想されるが、準備が必要ではないか。

地域創生課長 その様な可能性は十分想定されるが、まずは県が主体となった事業展開に期待し、



解体が予定される旧柵倉高跡地

その後、町への売買等の話の際には過去に県に寄贈した経緯なども踏まえて交渉することも考えたい。

問 終活を支援すべきでは

答 現在のところ考えはない

問 亡くなった時の対応に窮するケースが増える予想される、必要な部分は行政が支援すべきではないか。墓地の整備なども考えるべきでは。

町長 本町では殆どが親族で葬儀等が行われており、引き取り手



町宮の墓地

のないケースは年1回程度で、終活についての要望なども特にならない状態なので取り組む考えは持っていない。町の墓地は230区画中116区画に墓石が建てられ2区画が返還されており空き待ちが31人である。今後の墓地整備は、需要等を考慮しながら検討したい。

問 町民プールをどう考えるのか

答 現状では整備計画はなく対応策について調査研究中

問 学校や行事等での熱中症対策は

答 気温などの状況により臨機応変に対応している

問 町民プールを整備する考えはないのか、以前、ルネサンスのプールの活用や子どもセンターでの水遊び施設の整備を提案したが、又、プール事故の防止策は十分か。

教育長 現状では、町民プールを整備する計画はなく、対応策について調査研究している段階。ルネサンス柵倉のプールの活用は、夏休み期間中の短期スイミング教室やプール割引サービス等を実施しており、子どもセンターの水遊び施設の整備は、施設利用者のニーズを把握しながら、調査研究している。全教員を対象に救命救急講座を実施しプール事故の防止や、緊急時の対応にも備えている。



藤田 智之

議会運営委員会行政視察研修報告

山形県川西町・白鷹町

平成30年10月17日から18日の2日間にわたり、本委員会は山形県川西町と白鷹町で研修を行いましたのでその結果を報告します。



ネット中継に積極的に取り組んでいる議会であった

白鷹町

研修内容「議会改革の取り組みに
CSM」

白鷹町は人口13,943人で、本町とほぼ変わらない規模であり議員定数も同じである。
白鷹町議会での改革となる取り組みは、平成19年度からインターネットによる議会中継を始め、本会議はもとより、予算・決算特別委員会なども含めて配信しているとのことでした。

また、議会活性化特別委員会を設置し議会の活性化を検討してきたが、その中で予算特別委員会を常設し、当初予算は3月定例会、他の定例会では補正予算を審議しているとのことでした。

なお、各常任委員会の資料は、全議員に配布しており、各議員からの政策提言も実施しており、本町議会でも参考にすべき点の一つと思われました。

一般質問は、本町と同じく一問一答方式ですが、町当局の

答弁書は当日の朝、本人のみ配布しており、この件についても参考にすべき点だと感じました。
以上、棚倉町議会運営委員会行政視察研修の報告といたします。

棚倉町議会運営委員会
委員長 鈴木 政夫



ネット配信はもとより、幅広い改革に取り組んでいる白鷹町議会

川西町

研修内容「インターネット中継に
CSM」

川西町ではインターネット中継について研修した。川西町は民間



当町でもインターネットシステム導入を含めた情報発信のあり方など、総合的な結論のため検討が必要であると感じた。なお委員の中で、当町が導入する場合は、YouTubeの利用なども費用の面から考えられるとの意見も出されました。

なお、川西町では、新庁舎の建設をすることとなり、議場内のシステム等も新調することに合わせ、新たな配信計画も進めていきたいとのことであった。

総務常任委員会所管事務調査報告

事件名 空き家対策について

人口減少などを背景に、平成27年2月に空き家対策特別措置法が施行された。本町では平成27年度に町内空き家の調査を行った結果、著しく保安上の危険や衛生上有害となる恐れのある空き家は、現在当町では特定空き家に該当する家はなかった。

本町の空き家対策として、平成19年度より空き家バンクを経営し、更に、今年7月23日に福島県宅地建物取引業協会と空き家の媒介等に関する協定を締結した。今後は、空き家対策補助金の交付や、空き家対策協議会の設置を検討している。

空き家対策の現状と課題としては、物件の内容説明が専門的で、権利関係もそれぞれ異なるため複雑で、修繕を必要とする空き家など手入れされていない敷地もある。総務常任委員会の調査結果として、空き家の活用や適性管理に向けて課題は多いが、定住者促進の観点からも流動化する仕掛け等、より一層の空き家活用や特定空き

家を増やさないような施策及び対応が求められる。

以上、総務常任委員会所管事務の調査報告といたします。

総務常任委員会
委員長 佐川 裕一



担当課より説明を聞き、調査を行った。

ようこそ「棚倉町」へ

議会だよりの編集作業の研修のため来町されました。

8/29 千葉県一宮町議会報編集
委員会の皆さんと



10/16 宮城県多賀城市議会広報
特別委員会の皆さんと



活発な意見が交わされ、本町の広報委員も刺激を受けました。

ありがとうございました。

言わせて一言

人を・心を・時をつなぐたなぐらまちに
住む皆様にご意見、ご感想を伺いました。

私は社川地区玉野に住んでいます。

現在仕事の傍ら、棚倉町交通安全協会、日本赤十字等の委員としてボランティア活動に参加しています。

棚倉町では今年度より幼稚園3年保育、棚倉タクシー利用助成事業等を開始されたことはすばらしいことと思います。

今回の依頼で、これまでは「議会だより」をなんとなく読んでいたことを反省しました。

これからは、もっと行政を知るために意識を変えていくことが大事だと思いました。今後、益々高齢者が増えていくと思いますので、住みやすい、魅力ある棚倉町へ進んで行くために、少しでもお手伝い出来ればと考えています。

玉野にお住まいの
松本 まり子さん



堤にお住まいの
角田 信良さん



最近では毎年いくつもの大きな災害が世界中至る所で発生しています。先の9月17日に町総合グラウンドをメイン会場として「県南方総合防災訓練」が行われました。町長さんをはじめ各種団体の皆さんが想定される災害状況に真剣に取り組む姿にはとても感動し頼もしさを感じたものです。

一方、残念に思ったことは、あれだけの大規模な防災訓練にもかかわらず一般市民の参観者が非常に少なかったことです。自分の身の安全は自身で守る。その為にも貴重な訓練の機会を活用して危険を予知する能力を高める必要があると思います。

棚倉町においても大規模な災害が起きないとは断言出来ません。大きな被害が出てしまってから「想定外だった」とは言わないで済むように心がけたいものです。

あなたも議会を傍聴しませんか



傍聴の手続きは役場庁舎3階の傍聴席入口で住所と名前を書くだけで、どなたでも傍聴できます。

●12月定例議会日程のお知らせ (予定)

正式日程は、12月上旬開催予定の議会運営委員会で協議されます。

12月12日(水) 本会議	12月13日(木) 一般質問	12月14日(金) 一般質問
---------------	----------------	----------------

編集後記

全国表彰を受けた広報誌を広報誌づくりの研修で拝見しました。写真やレイアウトもさることながら、町民目線でいかに分かりやすく伝えるかの工夫や、町の事業や予算を様々な企画で評価するなどの活動も参考になりました。

より活発な議会活動のために、より町民に情報を伝えるために、他の議会の取り組みで参考になるものは積極的に取り入れていくべきと感じました。

今後の広報づくりにご期待ください。

広報編集常任委員会

委員長 藤田 智之

広報編集常任委員会

委員長 藤田 智之
副委員長 鈴木 政夫
委員 古市 泰久
委員 須藤 俊一
委員 藤田 光子